



事務連絡
平成23年5月31日

東京電力・東北電力以外から電力供給される

各 { 道府県
指定都市
中核市 } 民生主管課 御中

厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課
厚生労働省社会・援護局総務課
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課
厚生労働省老健局総務課

社会福祉施設等における夏期の節電の取組の進め方について

東日本大震災に伴う対応について、特段の御配慮をいただきまして、厚く御礼申し上げます。

節電対策につきましては、平成23年5月19日付通知「社会福祉施設等における夏期の電力需給対策について」（厚生労働省雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長、老健局長（以下「局長通知」という。))により示したところです。

今般、電気事業法第27条による東京・東北電力の管内における電気の使用制限について必要な準備が進められるよう、5月25日に経済産業省より「電気事業法に基づく使用制限の具体的内容について」（別添1）が発表されました。

これを受けて、東京電力・東北電力から電力供給される都県等に対し、別添のとおり事務連絡を発出しておりますので、東京電力・東北電力以外から電力供給される道府県等につきましても、その内容について参考までにご了解いただきますとともに、貴管内の社会福祉施設等に対し情報提供願います。



事務連絡
平成23年5月31日

東京電力・東北電力から電力供給される

各

都	県
指定都市	
中核市	

 民生主管課 御中

厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課
厚生労働省社会・援護局総務課
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課
厚生労働省老健局総務課

社会福祉施設等における夏期の節電の取組の進め方について

東日本大震災に伴う対応について、特段の御配慮をいただきまして、厚く御礼申し上げます。

節電対策につきましては、平成23年5月19日付通知「社会福祉施設等における夏期の電力需給対策について」（厚生労働省雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長、老健局長）（以下「局長通知」という。）により示したところです。

今般、電気事業法第27条による東京・東北電力の管内における電気の使用制限について必要な準備が進められるよう、5月25日に経済産業省より「電気事業法に基づく使用制限の具体的内容について」（別添1）が発表されました。

東京電力で電力を使用する者は、原則としてすべて、7月1日から9月22日までの平日9時～20時まで、また東北電力で電力を使用する者は、原則としてすべて、7月1日から9月9日までの平日9時～20時までについて、使用最大電力を前年比15%減とするために節電行動計画を策定、実施することが求められております。

社会福祉施設等につきましても、これらを受けて、夏期（7～9月）の節電に可能な限り徹底して取組んでいただくことが必要です。節電の取組の進め方（スケジュール等）のポイントは、下記のとおりです（別紙のスケジュールもご参照ください）。

つきましては、貴管内の東京・東北電力管内の市区町村や社会福祉施設等に対する周知について、ご協力いただきますようお願い致します。

る予定です。また提出先・提出方法については追って通知します。

節電行動計画の策定に当たっては、制限緩和の対象となった場合においても、できる限り昨年よりも電力の使用を削減していただきますようお願いします。

なお、同一法人又は同一業種間で活用する場合を除き、制限緩和の適用を受けた需要設備との間での共同使用制限スキームの活用はできませんのでご注意ください。

電気の使用制限の緩和を申請する場合の手続きの詳細につきましては、経済産業省ホームページ等をご参照ください。

4 その他留意点

節電の取組を行うに当たって、市区町村や社会福祉施設等の開所時間等を変更するような場合には、利用者へ十分配慮願います。また、労働条件の変更に当たる場合があると考えられますので、その際には、労使が十分に話し合い、家族的責任等を有する労働者の事情にも配慮しつつ、雇用・就業の継続を図りながら節電に係る取組が実施されるよう特段の御配慮をお願いします。

5 通知文・電気事業法関連の問い合わせ先（6月1日～）

【東北電力管内】

東北経済産業局資源エネルギー環境部 電力使用制限班
〒980-8403 宮城県仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎（6階第3・4会議室内）
（電話）022-263-1111（内線）5561、5562、5564

【東京電力管内】

関東経済産業局資源エネルギー環境部 電力事業課
〒330-9715 埼玉県さいたま市中央区新都心1-1 合同庁舎1号館（8階8-1会議室内）
（電話）048-601-1200（内線）3827

6 参考となるウェブサイト等

経済産業省ホームページ

- ・「電力需給に関する検討会合」

http://www.meti.go.jp/earthquake/electricity_supply/0325_electricity_supply.html

- ・「電気事業法に基づく使用制限の具体的内容について」

<http://www.meti.go.jp/earthquake/shiyoseigen/index.html>

- ・「節電—電力消費をおさえるには—」

※編集用の小口フォーマットも掲載

スケジュールについて

大口需要家・小口需要家共通	大口需要家のみ	団体における取組（例）
<p>○ 昨年の基準期間・時間帯（東電：平成22年7月1日～9月22日（平日）の9時～20時、東北電：平成22年7月1日～9月9日（平日）の9時～20時）における最大使用電力又は使用電力量の最大値を把握。（昨年の7～9月の領収書をチェック。ない場合や領収書でも不明の場合は電力会社に照会。）</p> <p>○ 目標設定、削減必要幅の把握 ※大口については右欄参照</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>○ 節電対策の洗い出し・電力削減量の積み上げ（小口フォーマット、家庭の節電対策メニュー、電機製品仕様書等を参考に。テナントの場合は空調等について管理者とも相談。）</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>○ 節電行動計画の策定 ※ 様式としては小口フォーマット等を参考に。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>○ （共同使用制限スキームを活用する場合） 6月17日 東北経済産業局・関東経済産業局への制</p>	<p>6月1日 需要家に対する通知到着 （制限値が記載されており、これが目標値となる）</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【制限緩和を申請する場合】</p> <p>6月17日 東北経済産業局・関東経済産業局への制限緩和申請※（7月1日適用開始分）</p>	<p>○ 貴下法人・施設等への夏期の電力需給対策の周知</p> <p>○ 経済産業局等が開催する説明会等への参加推奨</p>